

FX NEWS PRESS

2026年
1月号

2026年1月6日発行
FXニュースプレス
(No. 229)

AIゴールド証券
コンサルティング部
Tel : 03-6861-8181

今月の注目通貨ペア (P3)

米ドル円

「片山シーリング」の160円を試す展開となるか

【各種掲載のご案内】

- ▶ HP内でもFX NEWS PRESSや週間のテクニカルレポートWeekly Reportsを公開！
- ▶ FXやコモディティ、株価指数の市況情報を日々更新！マーケットコメントで公開！

詳しくはホームページをご覧ください

AI ゴールド 証券 <https://www.aigold.co.jp>

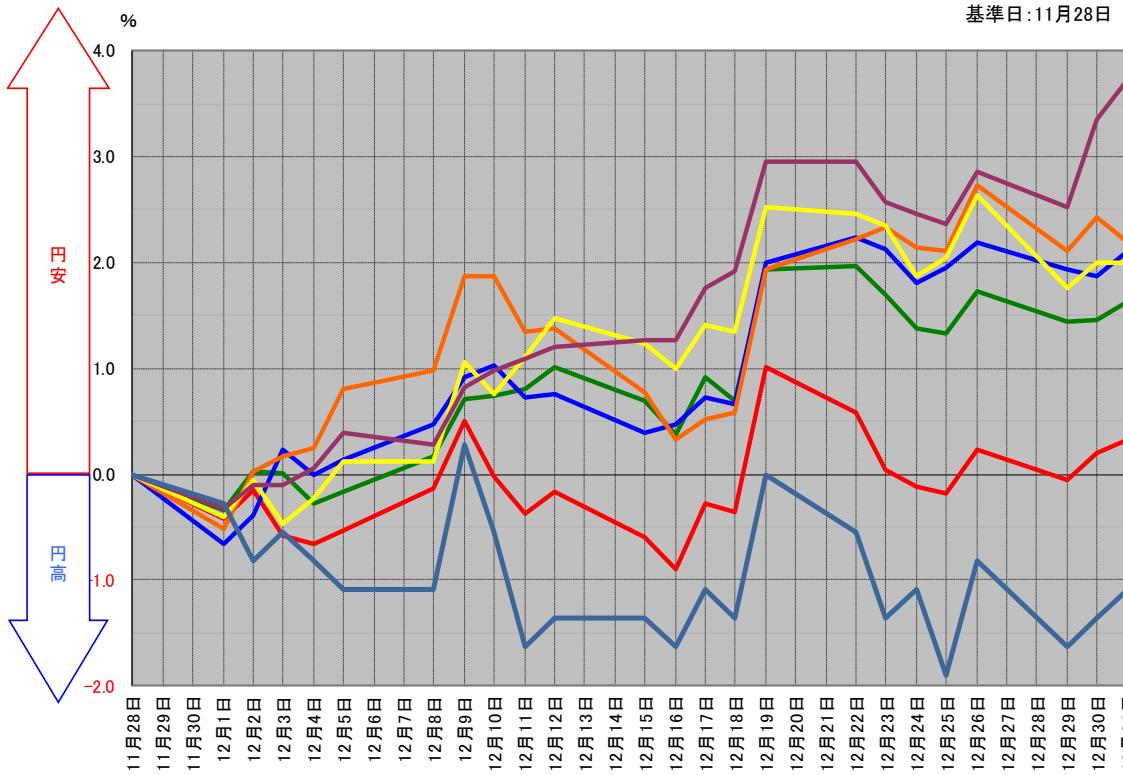
AIゴールド証券株式会社 東京都中央区日本橋久松町12-8 03-6861-8181 金融商品取引業者 [関東財務局長(金商)第282号]
一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員 日本商品先物取引協会会員

12月の相場検証

米ドル円（基準値: 156.135）ユーロ円（基準値: 181.15）ポンド円（基準値: 206.79）豪ドル円（基準値: 102.285）
ペソ円（基準値: 8.53）ランド円（基準値: 9.125）トルコ円（基準値: 3.69）

12月31時点評価

| 順位 | 前月比 |
|---------|--------|
| 南アフリカ | 3.73% |
| オーストラリア | 2.19% |
| イギリス | 2.11% |
| メキシコ | 1.99% |
| EU | 1.63% |
| アメリカ | 0.33% |
| 日本 | 0.00% |
| トルコ | -1.08% |



12月1日 日銀の利上げ観測強まる

日銀の植田和男総裁は1日の講演で、インフレ高進への警戒感を表明。その上で「利上げの是非について、適切に判断したい」などと語った。これが18・19日開催の金融政策決定会合での「利上げ予告」と受け止められ、円買いが先行。また、米国で利下げが進むとの見方も相場の重しとなり、一時154.67円と11月17日以来の安値を更新。ただ、米10年債利回りが4.09%台まで上昇したことから、155円台前半まで反発した。

12月3日 鹿用悪化でドル売り優勢

この日発表された11月ADP全米雇用報告が予想より弱い結果となったことから、米連邦準備制度理事会(FRB)による利下げ観測を後押しする内容と受け止める向きが多く、米長期金利が下落幅を拡大し、ドル売りが優勢となった。その後も、11月ISM非製造業景況指数が個別項目では「雇用」が48.9と、好不況の分かれ目とされる50を下回った。米雇用の減速が明らかになったことで、一時155.01円と日通し安値を更新した。

12月10日 FOMC政策金利

米連邦準備理事会(FRB)は米連邦公開市場委員会(FOMC)で市場予想通り政策金利を3.50～3.75%に引き下げるなどを決定した。2026年については、利下げ1回との見通しを維持したが、パウエルFRB議長の発言を受けて、利上げに転じる時期は近づいていないとの見方が強まり、米10年債利回りは4.13%台まで低下したことから、一時155.80円と日通し安値を更新した。

12月16日 米雇用統計

米労働省が朝方発表した11月の雇用統計は非農業部門雇用者数が前月比6.4万人増と予想の5.0万人増を上回った。一方、失業率は予想より弱い内容となった。また、12月米製造業・サービス部門PMI速報値も予想を下回ったことから、全般ドル売りが進行。一時154.40円と日通し安値を更新。ただ、4.13%台まで低下した米10年債利回りが4.19%台まで上昇したことで買い戻しを促し、一時155.00円付近まで下落渋った。

12月18日 ECB政策金利

欧州中央銀行(ECB)は18日の定例理事会で、市場予想通り政策金利を現行の2.15%に据え置くことを決定したと発表。声明では「特に内需のけん引により、経済成長は9月時点の予測よりも力強くなると予想される」と指摘した。同時に発表した景気予測では、成長率とインフレ率の見通しを一部上方修正した。市場では「事実上、利下げは打ち止め」との見方が広がり、一時1.1763ドルと日通し高値を更新した。

12月18日 英中銀(BOE)政策金利

英中銀が金融政策委員会の結果を公表し、政策金利は0.25%引き下げ3.75%とした。委員の投票は5対4と僅差での決定となったほか、26年にかけて追加利下げの余地があるとの見方を示したもの、今後の利下げ判断は微妙なバランスになると警告しており、ポンドドルは1.34ドル台半ばまで上昇。なお、短期金融市場は英中銀が来年中にあと1回利下げする可能性を支持している。

12月19日 日銀金融政策決定会合

日銀はこの日の政策決定会合で、政策金利を0.75%に引き上げることを決めた。結果発表後は円の持ち高を手仕舞う動きが台頭。また、会合後の記者会見で、植田総裁が次の利上げに積極的な姿勢を示さなかったことで、円売りに拍車が掛かった。NY市場でもこの流れが継続。米国株相場や日経平均先物の上昇に伴う円売り・ドル買いも出て、取引終了間際に一時157.78円と11月20日以来約1ヶ月ぶりの高値を付けた。

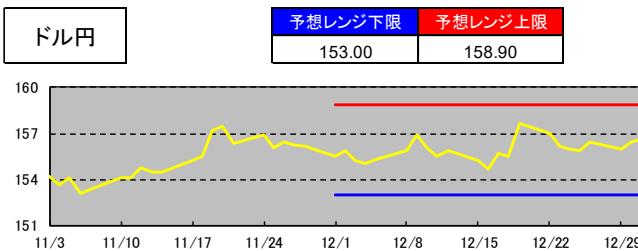
12月22日 片山大臣の円安牽制発言

片山さつき財務相が22日の米ブルームバーグ通信のインタビューで、足元の円安進行について「完全にファンダメンタルズではなく投機だ」との認識を示した。過度な相場変動に「断固として措置を取る」と語り、介入を辞さない姿勢を示したことから、円買い・ドル売りが先行。一時156.71円と日通し安値を付けた。ただ、売り一巡後は、クリスマス休暇入りする市場参加者も多く、取引終盤にかけては商いが細った。

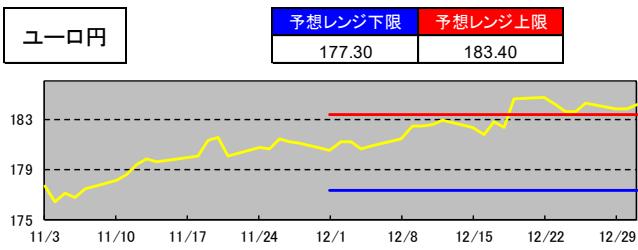
12月29日 日銀12月会合の議事要旨

日銀は今月18～19日の金融政策決定会合で政策委員が示した「主な意見」を公表した。今後も利上げを継続していくことが望ましいとの意見が相次ぐ中で、中立的な金利水準まで「まだかなり距離がある」として、数カ月に1回のペースを念頭に緩和度合いの調整を進めるべきだとの声があった。また、米長期金利低下に伴うドル売りが優勢となり、一時155.92円と日通し安値を更新した。

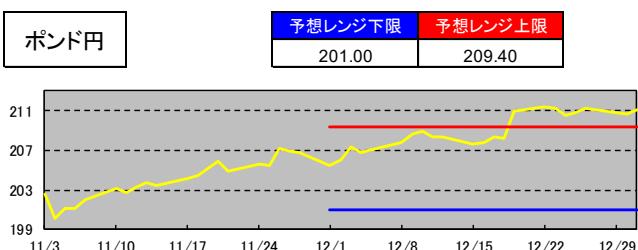
12月レビュー



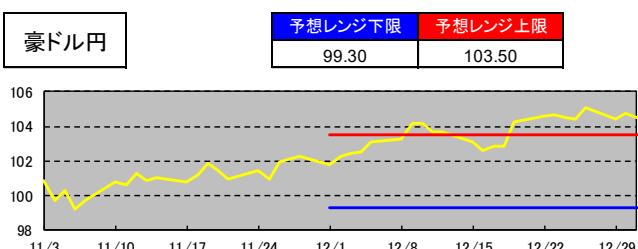
逆張り方針 評価【○】
コメント
予想レンジ内で推移した。



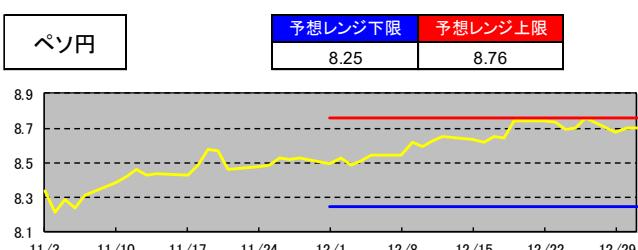
逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを上抜けた。



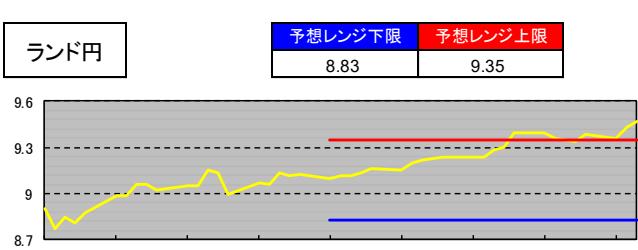
逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを上抜けた。



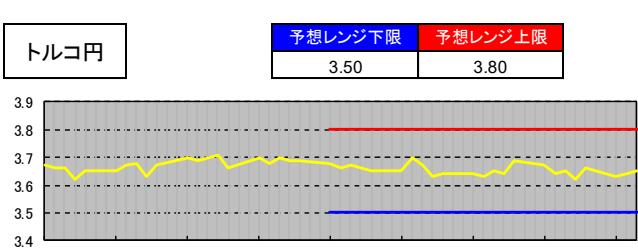
逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを上抜けた。



逆張り方針 評価【○】
コメント
予想レンジ内で推移した。



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを上抜けた。



逆張り方針 評価【○】
コメント
予想レンジ内で推移した。

米ドル/円 【逆張り方針】

予想レンジ

↑ 158.90円
↓ 154.10円



2025年8月1日～2025年12月31日

米ドル/円 [日足]

移動平均線：-短期(21) -中期(88) -長期(200)



**メイン
シナリオ 70%**

実線は、12/5安値(154.33)をサポートに、切り返しの動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。25/1/10高値(158.89)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、12月の値動きから導き出した計算値(154.12)がサポートになると予想しています。

**リスク
シナリオ 30%**

予想レンジの下限(154.10)を下抜けた場合。この場合は10/30安値(152.15)を試す展開が考えられます。

② 今月の経済指標発表スケジュール

| 発表 時刻 | イベント | 結果 | 前回 | 注目度 |
|------------|-----------------|----|-------------|-----|
| 1/2 23:45 | 12月製造業PMI | | 51.8 | ★★ |
| 1/6 0:00 | 12月ISM製造業景気指数 | | 48.2 | ★★ |
| 1/8 0:00 | 12月ISM非製造業景気指数 | | 52.6 | ★★ |
| 1/9 22:30 | 12月失業率 | | 4.60% | ★★ |
| 1/13 22:30 | 12月消費者物価指数(前年比) | | 2.70% | ★★ |
| 1/14 22:30 | 12月卸売物価指数(前年比) | | | ★★ |
| 1/15 22:30 | 12月小売売上高(前月比) | | | ★★ |
| 1/22 22:30 | 第3四半期GDP(前期比年率) | | 4.30% | ★★ |
| 1/26 22:30 | 11月耐久財受注(前月比) | | -2.20% | ★★ |
| 1/29 4:00 | FOMC政策金利(下限～上限) | | 3.50%～3.75% | ★★★ |

<相場の格言>大きな儲けの約束は果たさない(儲け話が大きくなるほど実現は遠のくものである。)

ユーロ/円 【逆張り方針】

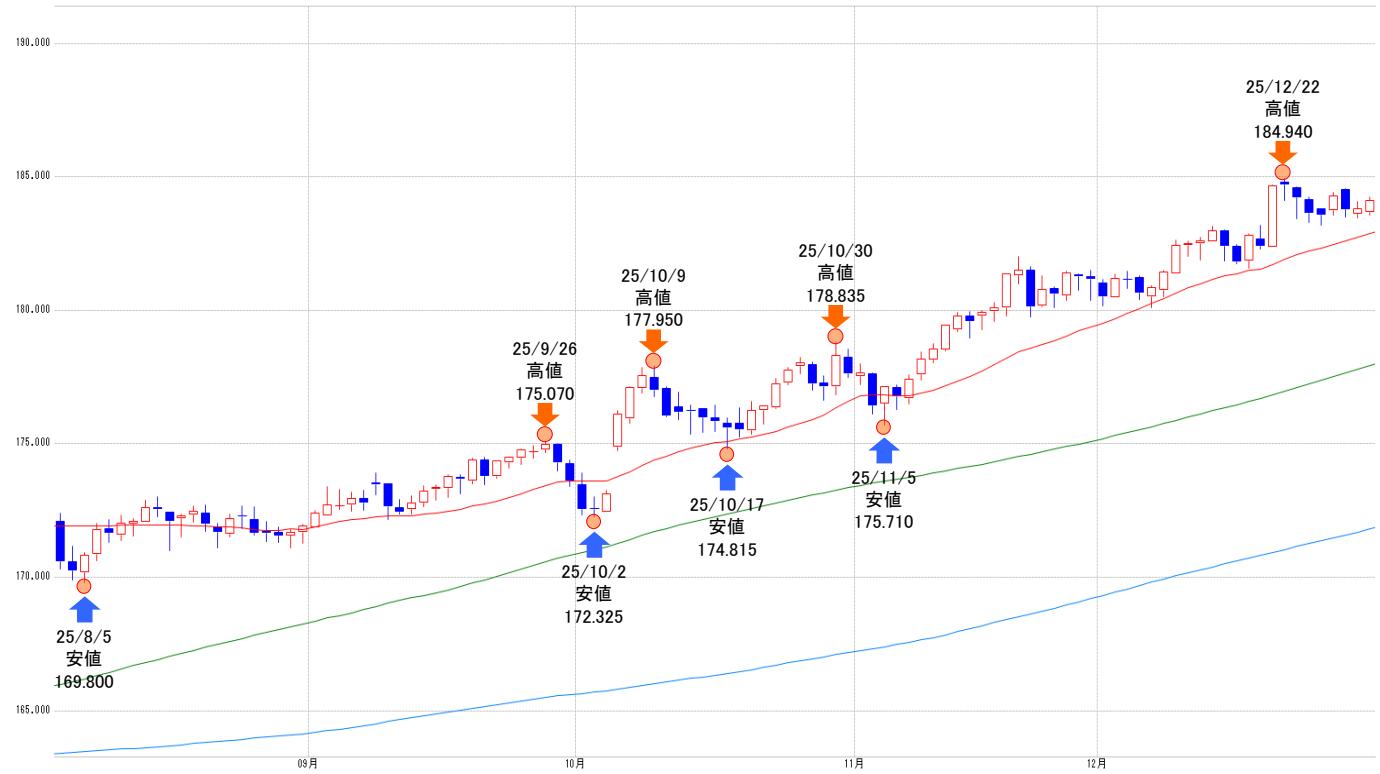
予想レンジ

↑ 186.10円
↓ 181.00円



2025年8月1日～2025年12月31日
ユーロ/円(日足)

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)



**メイン
シナリオ 70%**

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線をサポートに、切り返しの動きとなっていきます。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。12月の値動きから導き出した計算値(186.08)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、節目181円がサポートになると予想しています。

**リスク
シナリオ 30%**

予想レンジの下限(181.00)を下抜けた場合。この場合は11/14安値(178.97)を試す展開が考えられます。

② 今月の経済指標発表スケジュール

| 発表 時刻 | イベント | 結果 | 前回 | 注目度 |
|------------|-----------------|----|--------|-----|
| 1/2 18:00 | 12月製造業PMI | | 49.2 | ★★ |
| 1/7 19:00 | 12月消費者物価指数(前年比) | | 2.10% | ★★ |
| 1/8 19:00 | 11月失業率 | | 6.40% | ★★ |
| 1/8 19:00 | 11月生産者物価指数(前年比) | | -0.50% | ★★ |
| 1/9 19:00 | 11月小売売上高(前年比) | | 1.50% | ★★ |
| 1/15 19:00 | 11月鉱工業生産指数(前年比) | | 2.00% | ★★ |
| 1/20 18:00 | 1月ZEW景況感調査 | | 33.7 | ★★ |
| 1/23 18:00 | 1月製造業PMI | | | ★★ |
| 1/23 18:00 | 1月サービス業PMI | | | ★★ |

<相場の格言>人生は運・鈍・根(根は根気。鈍は鈍重、才走って賢い人は言われるほど成功しない。)

ポンド/円 【逆張り方針】

予想レンジ

↑ 215.00円

↓ 208.10円



2025年8月1日～2025年12月31日

ポンド/円 [日足]

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)



**メイン
シナリオ 70%**

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線をサポートに、切り返しの動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。12月の値動きから導き出した計算値(214.98)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、12/19安値(208.13)がサポートになると予想しています。

**リスク
シナリオ 30%**

予想レンジの下限(208.10)を下抜けた場合。この場合は12/1安値(205.21)を試す展開が考えられます。

② 今月の経済指標発表スケジュール

| 発表 時刻 | イベント | 結果 | 前回 | 注目度 |
|------------|------------------|----|--------|-----|
| 1/2 18:30 | 12月 製造業PMI | | 51.2 | ★★ |
| 1/6 18:30 | 12月 建設業PMI | | 39.4 | ★★ |
| 1/15 16:00 | 11月 月次GDP(前月比) | | -0.10% | ★★ |
| 1/20 16:00 | 12月 失業率 | | 4.4% | ★★ |
| 1/21 16:00 | 12月 小売物価指数(前年比) | | 3.8% | ★★ |
| 1/21 16:00 | 12月 消費者物価指数(前年比) | | 3.2% | ★★ |
| 1/23 16:00 | 12月 小売売上高(前年比) | | 0.6% | ★★ |
| 1/23 18:30 | 1月 製造業PMI | | 50.6 | ★★ |
| 1/23 18:30 | 1月 サービス業PMI | | | ★★ |

<相場の格言>群盲、象を評す(相場でも全体が見えないと部分だけで判断してしまいがちである。)

豪ドル/円 【逆張り方針】

予想レンジ

↑ 107.10円
↓ 102.80円



2025年8月1日～2025年12月31日

豪ドル/円 [日足]

移動平均線：-短期(21) -中期(88) -長期(200)



**メイン
シナリオ 70%**

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線をサポートに、切り返しの動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。24/7/16高値(107.10)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、12月の値動きから導き出した計算値(102.82)がサポートになると予想しています。

**リスク
シナリオ 30%**

予想レンジの下限(102.80)を下抜けた場合。この場合は11/26安値(100.91)を試す展開が考えられます。

② 今月の経済指標発表スケジュール

| 発表 時刻 | イベント | 結果 | 前回 | 注目度 |
|-----------|--------------------|----|-----------|-----|
| 1/7 9:30 | 11月住宅建設許可件数(前月比) | | -6.4% | ★★★ |
| 1/7 9:30 | 11月消費者物価指数(前年比) | | 3.8% | ★★★ |
| 1/8 9:30 | 11月貿易収支 | | 43.85億AUD | ★★★ |
| 1/13 8:30 | 1月消費者信頼感指数 | | 94.5 | ★★★ |
| 1/22 9:30 | 12月正規雇用者数(前月比) | | -2.13万人 | ★★★ |
| 1/22 9:30 | 12月失業率 | | 4.30% | ★★★ |
| 1/28 9:30 | 12月消費者物価指数(前年比) | | 4.30% | ★★★ |
| 1/28 9:30 | 第3期四半期消費者物価(前年比) | | 3.20% | ★★★ |
| 1/30 9:30 | 第3期四半期生産者物価指数(前年比) | | 3.50% | ★★★ |

〈相場の格言〉後悔に二つあり(利食いが早すぎた後悔は笑って済ませよ。利がはげてしまった後悔はやるせない。)

メキシコペソ/円 【逆張り方針】

予想レンジ

↑ 8.920円
↓ 8.500円



2025年8月1日～2025年12月31日
メキシコ/円 [日足]

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)



**メイン
シナリオ 70%**

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線をサポートに、切り返しの動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。12月の値動きから導き出した計算値(8.920)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、12/8安値(8.505)がサポートになると予想しています。

**リスク
シナリオ 30%**

予想レンジの下限(8.250)を下抜けた場合。この場合は10/17安値(8.050)を試す展開が考えられます。

② 今月の経済指標発表スケジュール

| 発表 時刻 | イベント | 結果 | 前回 | 注目度 |
|------------|-----------------|----|----------|-----|
| 1/3 0:00 | 12月製造業PMI | | 47.3 | ★★ |
| 1/8 21:00 | 12月消費者物価指数(前年比) | | 3.80% | ★★ |
| 1/9 21:00 | 11月鉱工業生産(前月比) | | 0.70% | ★★ |
| 1/26 21:00 | 12月失業率 | | 2.66% | ★★ |
| 1/27 21:00 | 12月貿易収支 | | 6.63億USD | ★★ |
| 1/30 21:00 | 第3四半期GDP(前年比) | | -0.10% | ★★ |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

〈相場の格言〉逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)

ランド/円 【逆張り方針】

予想レンジ

↑ 9.760円
↓ 9.280円



2025年8月1日～2025年12月31日

ランド/円 [日足]

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)



**メイン
シナリオ 70%**

実線は、11/26安値(9.060)をサポートに、切り返しの動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。12月の値動きから導き出した計算値(9.760)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、21日移動平均線(9.285)がサポートになると予想しています。

**リスク
シナリオ 30%**

予想レンジの下限(9.280)を下抜けた場合。この場合は12/3安値(9.085)を試す展開が考えられます。

② 今月の経済指標発表スケジュール

| 発表 時刻 | 国 | イベント | 結果 | 前回 | 注目度 |
|------------|-----|-----------------|----|-------|------|
| 1/9 22:30 | カナダ | 12月失業率 | | 6.50% | ★★★ |
| 1/19 22:30 | カナダ | 12月消費者物価指数(前年比) | | 2.20% | ★★★ |
| 1/21 17:00 | 南ア | 12月消費者物価指数(前年比) | | 3.50% | ★★★ |
| 1/23 8:30 | 日本 | 12月消費者物価指数 | | 2.90% | ★★★ |
| 1/23 時間未定 | 日本 | 日銀政策金利 | | 0.50% | ★★★★ |
| 1/28 23:45 | カナダ | カナダ中銀 政策金利 | | 2.25% | ★★★★ |
| 1/29 22:00 | 南ア | 南ア中銀 政策金利 | | 6.75% | ★★★★ |
| 1/30 8:30 | 日本 | 12月失業率 | | 2.60% | ★★★ |
| 1/30 22:30 | カナダ | 11月実質GDP(前年比) | | 0.40% | ★★★ |

〈相場の格言〉騰げは別々、下げは一緒(相場上昇時は業種等によって別々に上昇するが、下落時は同時に下げる。)

トルコ/円 【逆張り方針】

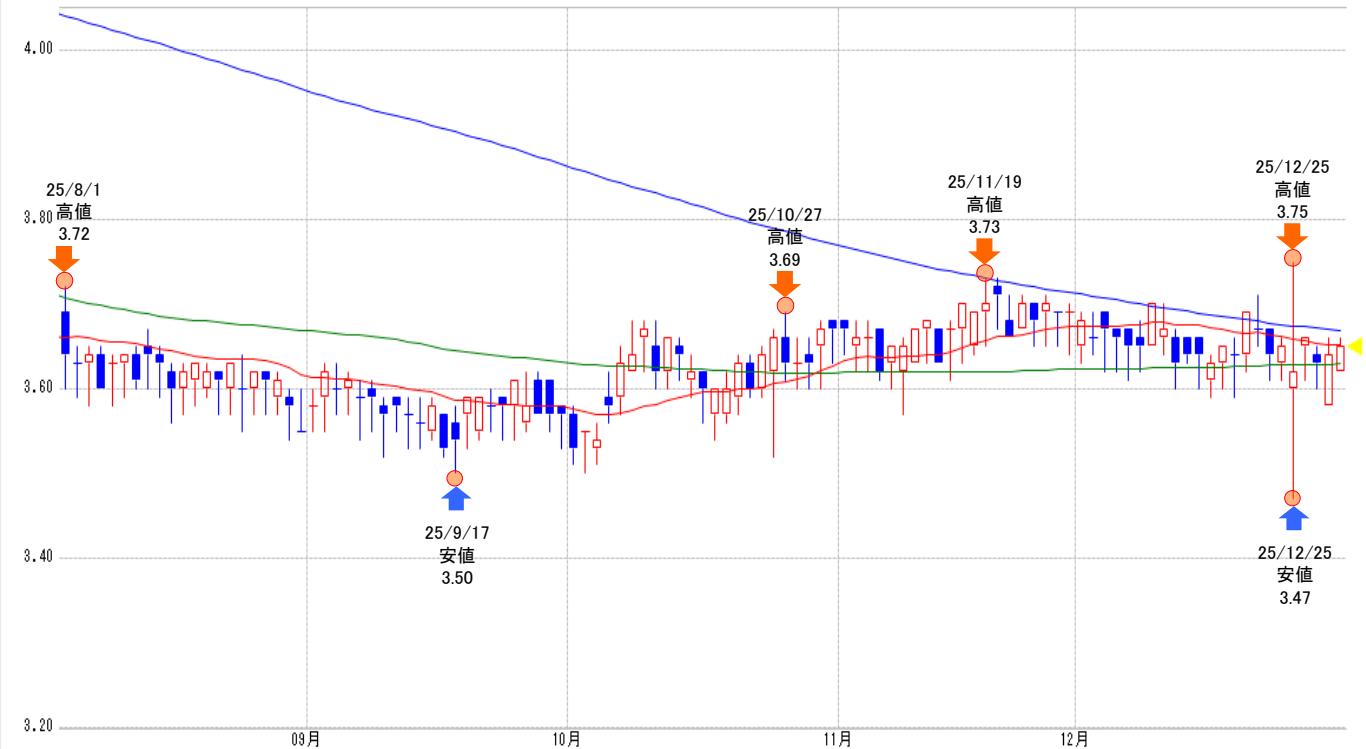
↑ 3.80円
↓ 3.50円



2025年8月1日～2025年12月31日

トルコ/円 [日足]

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)



**メイン
シナリオ 70%**

実線は、長期のトレンドを示す200日移動平均線が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。21日移動平均線は下降、89日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。12/25高値(3.75)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、12月の値動きから導き出した計算値(3.51)がサポートになると予想しています。

**リスク
シナリオ 30%**

予想レンジの下限(3.50)を下抜けた場合。この場合は7/24安値(3.37)を試す展開が考えられます。

② 今月の経済指標発表スケジュール

| 発表 時刻 | イベント | 結果 | 前回 | 注目度 |
|------------|-----------------|----|---------|-----|
| 1/2 16:00 | 12月製造業PMI | | 48.0 | ★★ |
| 1/5 16:00 | 12月消費者物価指数(前年比) | | 31.07% | ★★ |
| 1/9 16:00 | 11月鉱工業生産(前月比) | | -0.80% | ★★ |
| 1/12 16:00 | 10月経常収支 | | 4.6億USD | ★★ |
| 1/22 20:00 | トルコ中銀政策金利 | | 38.00% | ★★★ |
| 1/30 16:00 | 12月失業率 | | 8.60% | ★★ |
| 1/30 16:00 | 12月貿易収支 | | | ★★ |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)

ユーロ/米ドル 【逆張り方針】

予想レンジ

↑ 1.1890
↓ 1.1590



2025年8月1日～2025年12月31日

ユーロ/米ドル [日足]

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)



**メイン
シナリオ 70%**

実線は、9/24高値(1.1819)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。しかし21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。12月の値動きから導き出した計算値(1.1888)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、12/1安値(1.1591)がサポートになると予想しています。

**リスク
シナリオ 30%**

予想レンジの下限(1.1590)を下抜けた場合。この場合は11/5安値(1.1469)を試す展開が考えられます。

◎ スワップポイント実績表 (月別合計/1枚あたり)

| | | ドル/円 | ユーロ/円 | ポンド/円 | 豪ドル/円 | メキシコ/円 | ランド/円 | トルコ/円 | ユーロ/ドル |
|-----|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 25年 | 1月 | 5,517円 | 3,906円 | 7,412円 | 3,273円 | 5,880円 | 4,836円 | 1,060円 | -12.48ドル |
| | 2月 | 4,893円 | 3,073円 | 6,297円 | 2,842円 | 5,139円 | 4,253円 | 928円 | -13.64ドル |
| | 3月 | 4,886円 | 2,923円 | 6,488円 | 2,672円 | 5,106円 | 4,228円 | 947円 | -16.15ドル |
| | 4月 | 5,560円 | 3,164円 | 7,487円 | 3,091円 | 5,661円 | 4,353円 | 1,129円 | -20.55ドル |
| | 5月 | 4,574円 | 2,402円 | 5,902円 | 2,534円 | 4,934円 | 3,823円 | 840円 | -20.84ドル |
| | 6月 | 4,701円 | 2,334円 | 6,171円 | 2,574円 | 4,529円 | 4,087円 | 936円 | -21.73ドル |
| | 7月 | 5,386円 | 2,578円 | 7,049円 | 3,083円 | 5,228円 | 4,771円 | 1,030円 | -25.78ドル |
| | 8月 | 4,725円 | 2,234円 | 5,773円 | 2,421円 | 4,668円 | 4,013円 | 823円 | -22.61ドル |
| | 9月 | 4,871円 | 2,351円 | 6,036円 | 2,588円 | 4,788円 | 3,995円 | 767円 | -23.14ドル |
| | 10月 | 5,336円 | 2,642円 | 6,841円 | 2,882円 | 5,318円 | 4,681円 | 779円 | -24.19ドル |
| | 11月 | 4,444円 | 2,349円 | 5,882円 | 2,480円 | 4,510円 | 4,210円 | 721円 | -18.25ドル |
| | 12月 | 5,538円 | 3,256円 | 7,578円 | 3,312円 | 4,897円 | 4,384円 | 879円 | -21.36ドル |
| | 計 | 60,431円 | 33,212円 | 78,916円 | 33,752円 | 60,658円 | 51,634円 | 10,839円 | -240.72ドル |

〈相場の格言〉総強気は売れ、総弱気は買え(つきつめていけば、相場とはそういうものである。)



AI ゴールド 証券

【免責事項】

- AIゴールド証券(株)は、本情報に記載の情報いずれについても、その信頼性、正確性または完全性について保証するものではありません。このような情報にはAIゴールド証券(株)により確認されていない情報が含まれていることもありますので、全てご自身のリスクでこれらをご利用下さい。本情報の中で述べられている意見は、表示の日付のAIゴールド証券(株)の判断であり、予告無しに変更されることがあります。記載内容は同意を得た場合を除き、他社に開示することはできません。
- くりっく365は為替レートやスワップポイント(金利差調整分)の変動に伴い損益の発生する商品であり、元本や収益が保証されるものではありません。
- くりっく365は取引の額が預託された証拠金に比して大きくなる(レバレッジ最大25倍まで)ため、差入証拠金以上の損失が生じる場合があります。また、建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生じる場合があります。
- くりっく365で提示する為替レートには価格差(スプレッド)があります。
- 手数料はお客様の選択された取引コースにより異なります。
【総合コース:1枚あたり片道1,100円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は1,100円のうち770円が媒介手数料となります】
【インターネットコース:AIゴールド証券1枚あたり片道0円。媒介口座1枚あたり片道220円(税込)。媒介口座をご利用の場合は220円のうち110円が媒介手数料となります】
- 注文の発注、およびポジションを維持するために必要な証拠金額は通貨ペアによって異なり、1枚あたり1,460円～84,420円(2026年1月5日現在)です。なお、必要証拠金額は所定の計算式により毎週見直されるため、変更される場合があります。
- お取引に際して、必ず契約締結前交付書面(取引所為替証拠金取引説明書)、為替証拠金取引口座設定約諾書、約款ならびにお客様向け資料の内容をよく読み、ご理解のうえお客様ご自身の判断でお取引ください。
- 「取引所FX くりっく365」は株式会社東京金融取引所の登録商標です。

【編集・発行】

AIゴールド証券株式会社 コンサルティング部

住所 : 東京都中央区日本橋久松町12-8 TEL : 03-6861-8181(直通) E-mail : kawase@aigold.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第282号 一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員

日本商品先物取引協会会員